



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社遠藤製作所

コード番号 7841 URL <http://www.endo-mfg.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 実

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門担当兼経営企画部長 (氏名) 佐藤 俊明

TEL 0256-63-6111

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	6,861	3.8	449	—	479	—	46	—
27年3月期第2四半期	6,613	△23.1	△2	—	△25	—	△422	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △91百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △649百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	5.28	—
27年3月期第2四半期	△48.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	18,939	14,235	75.2
27年3月期	19,673	14,391	73.1

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 14,235百万円 27年3月期 14,391百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,178	△4.6	631	294.4	685	75.6	△64	—	△7.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	9,441,800 株	27年3月期	9,441,800 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	711,801 株	27年3月期	711,740 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	8,730,003 株	27年3月期2Q	8,730,060 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善傾向にあり、景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、アジア新興国をはじめとする海外経済の減速、円安の影響による輸入原材料価格の上昇等の不安要因があり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、生産効率の向上、競争力のある高付加価値製品の供給に努め、新規取引先の受注拡大等を図るとともに、ゴルフ事業で構造改革を推し進めるべく、海外子会社の工場合理化に踏み切る等、一層の効率化・コスト低減等、収益の改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は68億61百万円（前年同期比3.8%増）となりました。利益面につきましては、ゴルフ事業でコスト削減が進んだことやステンレス事業で増収・生産効率が向上したこと等から、営業利益4億49百万円（前年同期は2百万円の営業損失）、経常利益4億79百万円（前年同期は25百万円の経常損失）となりました。また、本社において遊休資産の減損損失を特別損失に計上したこと等で、親会社株主に帰属する四半期純利益46百万円（前年同期は4億22百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(ゴルフ事業)

ゴルフ事業につきましては、本社及びタイ工場のコスト削減に努めるとともに、固定費の圧縮を行ったこと等で、売上高22億96百万円（前年同期比8.9%減）、営業損失1億9百万円（前年同期は4億9百万円の営業損失）となりました。

(ステンレス事業)

ステンレス事業につきましては、新たな取引先との受注の増加、製造工程の効率化等を図り、売上高8億87百万円（前年同期比20.3%増）、営業利益3億23百万円（同42.5%増）となりました。

(鍛造事業)

鍛造事業につきましては、生産効率の向上、コスト削減等に努め、売上高36億77百万円（同9.6%増）、営業利益3億96百万円（同0.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、189億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億34百万円減少いたしました。

流動資産は、104億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億79百万円減少いたしました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が減少したこと等によるものであります。固定資産は、84億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億54百万円減少いたしました。この主な要因は、減損に伴う土地の減少等によるものであります。

負債合計は、47億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億78百万円減少いたしました。

流動負債は、32億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億57百万円減少いたしました。この主な要因は、短期借入金が増加したこと等によるものであります。固定負債は、14億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億21百万円減少いたしました。この主な要因は、社債の減少等によるものであります。

純資産合計は、142億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億55百万円減少いたしました。この主な要因は、為替換算調整勘定が減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、8億32百万円（前年同期比187.5%増）の収入となりました。これは主に、減価償却費5億25百万円、売上債権の減少2億32百万円、税金等調整前四半期純利益2億14百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億87百万円（同1.7%増）の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3億円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億13百万円（前年同期は1億88百万円の収入）の支出となりました。これは主に長期借入金の返済による支出2億7百万円、リース債務の返済による支出2億6百万円等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は50億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ73百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年10月30日付公表の「特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」の予想数値に変更ありません。また、今後の動向を踏まえ、修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。

なお、業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって記載の業績数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算出方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,834,671	5,781,313
受取手形及び売掛金	2,761,203	2,505,194
商品及び製品	781,442	761,872
仕掛品	462,100	563,232
原材料及び貯蔵品	679,256	692,013
繰延税金資産	11,298	15,530
その他	209,416	144,176
貸倒引当金	△11,416	△15,230
流動資産合計	10,727,972	10,448,103
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	3,007,858	2,876,650
機械装置及び運搬具 (純額)	2,963,105	2,749,355
工具、器具及び備品 (純額)	97,286	92,317
土地	1,798,619	1,635,208
建設仮勘定	100,211	105,466
有形固定資産合計	7,967,080	7,458,999
無形固定資産	25,820	35,460
投資その他の資産		
投資有価証券	100,569	130,466
投資不動産 (純額)	434,139	431,169
退職給付に係る資産	378,902	398,722
その他	45,714	42,992
貸倒引当金	△6,213	△6,101
投資その他の資産合計	953,111	997,248
固定資産合計	8,946,012	8,491,708
資産合計	19,673,984	18,939,812

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,099,117	911,269
短期借入金	1,296,350	750,320
1年内償還予定の社債	-	600,000
リース債務	291,224	86,807
未払法人税等	136,124	178,429
未払金及び未払費用	471,968	357,106
賞与引当金	53,198	244,261
債務保証損失引当金	24,040	-
その他	104,422	90,996
流動負債合計	3,476,446	3,219,191
固定負債		
社債	1,100,000	500,000
長期借入金	137,500	438,980
リース債務	14,145	10,097
繰延税金負債	195,302	189,713
退職給付に係る負債	228,532	221,509
役員退職慰労引当金	63,940	57,237
資産除去債務	60,128	60,583
その他	6,494	6,778
固定負債合計	1,806,044	1,484,900
負債合計	5,282,490	4,704,091
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,788	1,241,788
資本剰余金	1,189,873	1,189,873
利益剰余金	10,225,529	10,201,747
自己株式	△287,993	△281,935
株主資本合計	12,369,198	12,351,474
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,446	25,748
為替換算調整勘定	1,971,303	1,829,059
退職給付に係る調整累計額	45,545	29,437
その他の包括利益累計額合計	2,022,295	1,884,245
純資産合計	14,391,494	14,235,720
負債純資産合計	19,673,984	18,939,812

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	6,613,540	6,861,563
売上原価	5,609,470	5,591,838
売上総利益	1,004,070	1,269,724
販売費及び一般管理費	1,006,748	820,086
営業利益又は営業損失(△)	△2,678	449,638
営業外収益		
受取利息	13,214	17,762
受取配当金	1,120	1,038
投資不動産賃貸料	9,637	17,908
為替差益	4,563	31,599
その他	20,120	11,481
営業外収益合計	48,655	79,790
営業外費用		
支払利息	33,026	23,747
減価償却費	8,211	5,665
シンジケートローン手数料	11,649	11,374
その他	18,573	9,108
営業外費用合計	71,461	49,894
経常利益又は経常損失(△)	△25,483	479,534
特別損失		
減損損失	-	186,786
事業再編損	248,904	78,148
特別損失合計	248,904	264,935
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△274,388	214,598
法人税、住民税及び事業税	121,784	177,365
法人税等調整額	26,103	△8,825
法人税等合計	147,887	168,540
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△422,275	46,058
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△422,275	46,058

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△422,275	46,058
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,782	20,302
為替換算調整勘定	△216,815	△142,243
退職給付に係る調整額	△12,284	△16,108
その他の包括利益合計	△227,316	△138,049
四半期包括利益	△649,592	△91,991
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△649,592	△91,991
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△274,388	214,598
減価償却費	430,334	525,921
減損損失	-	186,786
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,245	3,701
賞与引当金の増減額(△は減少)	187,208	191,063
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,526	△3,850
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△860	△6,703
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	25,048	△24,040
受取利息及び受取配当金	△14,334	△18,800
支払利息	33,026	23,747
為替差損益(△は益)	10,714	43,448
事業再編損	248,904	78,148
売上債権の増減額(△は増加)	△703,638	232,554
たな卸資産の増減額(△は増加)	195,956	△116,312
仕入債務の増減額(△は減少)	258,245	△228,033
未収消費税等の増減額(△は増加)	18,291	13,313
その他	△36,539	14,993
小計	388,741	1,130,535
利息及び配当金の受取額	14,265	18,836
利息の支払額	△32,831	△25,080
事業再編による支出	-	△160,612
法人税等の支払額	△80,552	△131,030
営業活動によるキャッシュ・フロー	289,622	832,648
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	126,463	126,687
有形固定資産の取得による支出	△308,785	△300,374
有形固定資産の売却による収入	6,181	680
無形固定資産の取得による支出	△7,120	△14,661
その他	△1,199	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△184,460	△187,617
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	△30,000
長期借入金の返済による支出	△190,903	△207,150
社債の発行による収入	500,000	-
リース債務の返済による支出	△43,673	△206,141
自己株式の売却による収入	10,012	-
自己株式の取得による支出	-	△24
配当金の支払額	△87,300	△69,840
財務活動によるキャッシュ・フロー	188,134	△513,156
現金及び現金同等物に係る換算差額	△50,992	△58,221
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	242,304	73,653
現金及び現金同等物の期首残高	4,238,727	4,944,893
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,481,031	5,018,547

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ゴルフ事業	ステンレス 事業	鍛造事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	2,520,062	737,754	3,355,723	6,613,540	—	6,613,540
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,100	—	—	5,100	△5,100	—
計	2,525,162	737,754	3,355,723	6,618,640	△5,100	6,613,540
セグメント利益又は損失(△)	△409,410	227,149	397,484	215,224	△217,903	△2,678

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△217,903千円には、セグメント間取引の消去△5,100千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△212,803千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ. 当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ゴルフ事業	ステンレス 事業	鍛造事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	2,296,545	887,154	3,677,862	6,861,563	—	6,861,563
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,100	—	—	5,100	△5,100	—
計	2,301,645	887,154	3,677,862	6,866,663	△5,100	6,861,563
セグメント利益又は損失(△)	△109,321	323,741	396,772	611,192	△161,553	449,638

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△161,553千円には、セグメント間取引の消去△5,100千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△156,453千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ゴルフ事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、4,734千円であります。

各セグメントに配分していない全社資産において、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、182,051千円であります。

(重要な後発事象)

海外子会社の工場合理化について

当社は、平成27年9月17日開催の取締役会において、当社の連結子会社ENDO THAI CO., LTD. のメタルウッドヘッド生産工場の合理化について決議いたしました。この合理化に伴い、従業員の退職加算金等は平成28年3月期第3四半期決算において、事業再編損(概算額148百万円)として特別損失に計上する予定であります。